

自動車専用タイヤ空気充填機

タイヤインフレーターシリーズ



ATC-99T/150T
ATC-99L/150L
AT-930S/930K

※タイヤの空気圧調整は、自動車の安全走行に最も重要な作業です。
十分に注意し、自己責任において正しく調整してください。

持ち運びのできるタイヤ空気圧調整用の タンク式タイヤインフレーター

☆軽量化を追求した見やすい手元メーターで操作するTシリーズ



・ ATC-99T
(9.9Lタンク)

・ ATC-150T
(15Lタンク)

☆本体スティックレバーの操作で、スピーディーな作業が可能なLシリーズ



・ ATC-99L
(9.9Lタンク)

・ ATC-150L
(15Lタンク)

●仕様

製品番号	型 式	外観寸法	ゲージ目盛	タンク容量	質量
881211	ATC-99T	全高: 730mm 全幅: 330mm	0~600kPa (最小 10kPa)	9.9L (ステンレス仕様)	本体: 4.4kg スタンド: 2.3kg
881212	ATC-150T	全高: 795mm 全幅: 370mm		15.0L (ステンレス仕様)	本体: 5.0kg スタンド: 2.5kg

●仕様

製品番号	型 式	外観寸法	ゲージ目盛	タンク容量	質量
881021	ATC-99L	全高: 698mm 全幅: 343mm	0~700kPa (最小 20kPa)	9.9L (ステンレス仕様)	本体: 5.6kg スタンド: 2.3kg
881022	ATC-150L	全高: 759mm 全幅: 363mm		15.0L (ステンレス仕様)	本体: 6.2kg スタンド: 2.5kg



改良品

(従来品)

大型の圧力計ゲージの採用で
視認性をUP!(当社比1.5倍)



大小2つのメーターにより、
タイヤ圧・残圧が見やすくなり
ました。



ノズルはアルミホイール
など様々なタイヤに対応
します。



改良品

(従来品)

ホースを長く(現行比で約3倍)
する事で、操作性が大幅向上!



グリップ部はゴム製プロテ
クターを採用。さらに安全に
なりました。
(供給圧用タンク安全弁内蔵)

大きな目盛板を搭載した設置式タイヤインフレーター フローア設置タイプ、壁掛タイプの2種類



スタンド式
(AT-930S)

壁掛式
(AT-930K)

●仕様

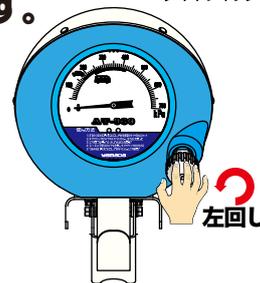
製品番号	型 式	主要性能	外観寸法	標準付属品
881163	AT-930S (スタンド式)	設定圧力範囲：50kPa～700kPa 最小目盛：10kPa	全高：1,270mm 全巾：302mm 奥行：420mm 質量：15.4kg	サービスホース……………1 (10m/タイヤチャック付) セットアンカー……………4 コーションカード……………1
881164	AT-930K (壁掛式)	使用温度範囲：-5～60℃ 保護等級：IP23相当	全高：424mm 全巾：302mm 奥行：382mm 質量：11.0kg	サービスホース……………1 (10m/タイヤチャック付) セットアンカー……………4 コーションカード……………1

※本製品は、一般乗用車及び2トントラックまでを対象とした、自動車のタイヤエアを補充する為のエアインフレーターです。
他の用途では絶対に使用しないでください。特に大型トラック、エアホーン等への充気や、0MPaからのタイヤへの充気は本製品の故障となります。
※本製品への供給圧力は、1MPa±0.05で調圧してご使用ください。

AT-930操作方法

- 1** 運転席ドアの内側に貼られたラベルにて
タイヤ圧の適正值をご確認ください。

タイヤ空気圧 (kPa[kg/cm ²])		
- 2** 本体手前のつまみを右(時計方向)に回し、
目盛盤の指針を希望するタイヤ圧力に合わせてください。
- 3** メーターをセットしたらタイヤチャックを、タイヤのバルブに
垂直に押し当てますとエアの充填が開始されます。
アラームが(チン!チン!)と鳴り、次第に遅くなり、鳴り止むと完了です。
タイヤチャックの押し当てる力が足りないと、
エアが洩れて完了しませんので注意してください。
- 4** 作業終了後は、次のお客様のためにつまみを左(反時計方向)に
回し、必ずセット圧力を“0”に戻しておいてください。



※タイヤの空気圧調整は、自動車の安全走行に最も重要な作業です。十分に注意し、自己責任において正しく調整してください。



 **注意** 本カタログに掲載されている製品の機種選定について機器を適切に扱うために、気体の種類をよくご確認ください。



【弊社HPはこちら!】

<https://www.yamadacorp.co.jp>

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号
札幌営業所 〒062-0002 札幌市豊平区美園二条6丁目3番16号 仙台営業所 〒981-3137 仙台市泉区大沢2丁目2番3号
東京営業所 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号 名古屋営業所 〒463-0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰7番38号
大阪営業所 〒536-0021 大阪市城東区諏訪1丁目2番20号 広島営業所 〒731-5128 広島市佐伯区五日市中央3丁目3番9号
福岡営業所 〒812-0888 福岡市博多区板付5丁目18番14号 相模原工場 〒252-0212 相模原市中央区宮下1丁目2番38号

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055

※本誌に記載する製品は改良等により予告なしに変更することがありますのでご了承下さい。

Form No 910-353 改訂 2025.02